

平成30年度全日本ラージボール卓球選手権大会 岩手県予選会  
実施要項

1. 名称 平成30年度全日本ラージボール卓球選手権大会岩手県予選会
2. 日時 平成30年3月31日(土) 9時30分開会予定
3. 会場 北上総合体育館  
北上市相去町高前樋27-36 〒024-0051  
TEL: 0197-67-6720 (開館8:30)
4. 主催 岩手県卓球協会
5. 主管 北上市卓球協会  
岩手県卓球協会ラージボール委員会
6. 後援 (公財)北上市体育協会 日本卓球(株) 岩手日報社 IBC岩手放送  
テレビ岩手 岩手めんこいテレビ 岩手朝日テレビ (予定)

7. 競技種目

(1) シングルス

- ①一般男子シングルス(年齢制限無) ⑩一般女子シングルス(年齢制限無)
- ②男子シングルス40(40歳以上) ⑪女子シングルス40(40歳以上)
- ③男子シングルス50(50歳以上) ⑫女子シングルス50(50歳以上)
- ④男子シングルス60(60歳以上) ⑬女子シングルス60(60歳以上)
- ⑤男子シングルス65(65歳以上) ⑭女子シングルス65(65歳以上)
- ⑥男子シングルス70(70歳以上) ⑮女子シングルス70(70歳以上)
- ⑦男子シングルス75(75歳以上) ⑯女子シングルス75(75歳以上)
- ⑧男子シングルス80(80歳以上) ⑰女子シングルス80(80歳以上)
- ⑨男子シングルス85(85歳以上) ⑱女子シングルス85(85歳以上)

(2) 混合ダブルス(ダブルスは2名の合計年齢とする)

- ①一般混合ダブルス(年齢制限無)
- ②混合ダブルス 80(合計80歳以上)
- ③混合ダブルス 100(合計100歳以上)
- ④混合ダブルス 120(合計120歳以上)
- ⑤混合ダブルス 130(合計130歳以上)
- ⑥混合ダブルス 140(合計140歳以上)
- ⑦混合ダブルス 150(合計150歳以上)
- ⑧混合ダブルス 160(合計160歳以上)

8. 試合方法 ①各種目とも11ポイント3ゲームスマッチとする。  
②全ての種目は、第1ステージ3~4名(組)によるリーグ戦とし、  
第2ステージは第1ステージの1位の者(組)によるトーナメント  
方式とする。なお、参加人数によってはその限りではない。

9. 競技ルール ①現行のラージボール卓球ルールによる。

- ②使用球は、ニッタク公認プラスチック球 44 mmを使用する。
- ③表ソフトラバー（粒高ラバーを除く）のみが使用できる。また、ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼ることはできない。
- ④今大会の審判は、選手の相互審判で行う。
- ⑤ゼッケンは、平成30年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。ただし、平成29年度のものも使用を認める。

#### 10. 参加資格

- ①参加者は、岩手県に居住または勤務している者で平成30年度（公財）日本卓球協会選手登録者であること。または、選手登録予定者であること。
- ②年齢は、平成31年4月1日迄に当該年齢に達している者であること。ただし、一般に出場する選手の年齢制限はない。
  - (イ) 40（40歳以上）は昭和54年4月1日以前に生まれた者。
  - (ロ) 50（50歳以上）は昭和44年4月1日以前に生まれた者。
  - (ハ) 60（60歳以上）は昭和34年4月1日以前に生まれた者。
  - (ニ) 65（65歳以上）は昭和29年4月1日以前に生まれた者。
  - (ホ) 70（70歳以上）は昭和24年4月1日以前に生まれた者。
  - (ヘ) 75（75歳以上）は昭和19年4月1日以前に生まれた者。
  - (ト) 80（80歳以上）は昭和14年4月1日以前に生まれた者。
  - (チ) 85（85歳以上）は昭和9年4月1日以前に生まれた者。
- ③各選手はシングルス、混合ダブルスの両種目に出場することができる。
- ④平成30年度全日本ラージボール卓球選手権大会岩手県予選会に申込みされた選手は、第31回全国ラージボール卓球大会岩手県予選会に出場できない。（二つの大会のうちひとつに出場できる）
- ⑤同一種目内において、一般と年代別を重複して出場はできない。

#### 11. 全国参加枠

##### (1)シングルス

- ①一般男子シングルス ⇒ 2名      ⑩一般女子シングルス ⇒ 2名
- ②男子シングルス40 ～ ⑨男子シングルス85 ⇒ 各1名
- ⑪女子シングルス40 ～ ⑱女子シングルス85 ⇒ 各1名

##### (2)混合ダブルス

- ①一般混合ダブルス ⇒ 2名
- ②混合シングルス80 ～ ⑧混合ダブルス160 ⇒ 各1名

##### (3)補足説明

- ①岩手県予選会の全ての競技種目において、参加エントリー数がゼロの種目があった場合は最もエントリー数の多い種目に参加枠を配分する。
- ②平成29年度（第30回全国ラージボール卓球大会）のAクラスの優勝者

は無条件参加選手として平成30年度全日本ラージボール卓球選手権大会に予選会なしで参加できる。

\*本県対象者 男子75歳以上 安久津吉延 (釜石卓球クラブ)

12. 参加料      シングルス1名      1,500円 (大会当日徴収)  
                  混合ダブルス1組      2,000円      "
13. 申込方法      別紙の申込用紙に必要事項を記入のうえ期日までに申込みのこと。  
                  〒020-0021 盛岡市中央通3-15-29-203号  
                  岩手県卓球協会 事務局 ラージボール委員会 宛  
                  TEL: 019-622-9831 (FAX 兼)
14. 申込期日      平成30年3月3日 (土) 必着厳守  
                  \*組合せ事務の都合上申込期日に遅れた場合は受け付けない。
15. 表彰      全種目、1位、2位を表彰する。
16. 問合せ先      岩手県卓球協会 理事長 高橋和博 TEL. 090-6784-1074
17. その他      ①会場で発生した各自のごみは必ず持ち帰りください。  
                  ②一旦申込まれた選手の締切期日後の変更は原則認めない。  
                  ③やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、当日必ず受付に申し  
                  出ること。また、その場合参加料は返金しない。  
                  ④大会参加中、万一事故のあった場合は、「日本卓球協会会員お見舞い  
                  制度」の範囲内で対応する。  
                  ⑤個人情報の取り扱いに関して  
                  大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するも  
                  のとし、それ以外の目的に利用することはありません。

#### 【全日本大会の日程等】

##### ●平成30年度全日本ラージボール卓球選手権大会

- ・期 日      平成30年6月22日 (金) ~ 24日 (日)
- ・会 場      べっぷアリーナ (大分県 別府市総合体育館)

各都道府県協会（連盟） 御中



ルール・審判委員会担当常務理事  
柳原 正明  
事業部長  
金崎 正久

### ラージボール卓球ルールの改定について

平素は本会の諸行事に格別のご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。  
標記の件につきまして改定となりましたのでお知らせいたします。

現行のラージボール卓球ルールは、次のとおりレクリエーション用と競技用の2章立てとなっています。

〈第1条目的〉

①第2章基本ルール

幅広く卓球の普及とともにレクリエーションとして卓球を楽しむことを目的とした諸規則。

②第3章競技ルール

JTTAが主催または主管する競技大会で適用される諸規則を定めた。

その他の団体が主催するラージボール競技会にも適用し、競技を行うことが望ましい。

このことにより、レクリエーションとして楽しむ選手やリハビリテーションには、現行どおりとなり、JTTA主催大会等に参加する競技者には、静止の厳守、投げ上げ高さの不足による「ぶっつけサービス防止」等がルール化され、審判も公平・公正なルールにより明確にジャッジできるようになります。

以上により平成29年度第3回理事会により平成30年度より開催されます「全日本ラージボール卓球選手権大会」、「全国ラージボール大会」は、競技ルールを下記のような「競技大会ルール」と名称を改め承認されました。特に各都道府県で、ご出場される選手に対しまして追加される2点をご周知いただきますようお願い申し上げます。

現行ルール (H24. 4. 1改定)	改定
<p>(目的)</p> <p>第1条 このルールは、日本卓球ルールに規定したボールの寸法をラージサイズとしたボール(ラージボール)を使用するラージボール卓球ルールとして制定する。</p> <p>2 「第2章基本ルール」では、幅広く卓球の普及とともにレクリエーションとして卓球を楽しむことを目的とした諸規則を、「第3章競技ルール」では、JTTAが主催または主管する競技大会で適用される諸規則を定めた。なお、その他の団体が主催するラージボール競技会にあっても「第3章競技ルール」を合わせ適用して競技を行うことが望ましい。</p> <p>第2章 基本ルール</p> <p>第3章 競技ルール</p>	<p>(目的)</p> <p>第1条 このルールは、日本卓球ルールに規定したボールの寸法をラージサイズとしたボール(ラージボール)を使用するラージボール卓球ルールとして制定する。</p> <p>2 「第2章レクリエーションルール」は、幅広く卓球の普及とともにレクリエーションとして卓球を楽しむことを目的とした諸規則を、「第3章競技大会ルール」では、JTTAが主催または主管する競技大会で適用される諸規則を定めた。なお、その他の団体が主催するラージボール競技会にあっても「第3章競技大会ルール」を合わせ適用して競技を行うことが望ましい。</p> <p>第2章 <u>レクリエーションルール</u> 変更しない(13ポイント勝ちが残る)</p> <p>第3章 <u>競技大会ルール</u></p> <p>現行ルールに次の項目を追加する。</p> <p>①競技方法 <u>10:10以降は、2ポイント差とする。</u></p> <p>②サービス <u>2~3秒静止する。</u> <u>16cm以上あげる</u></p>

以上